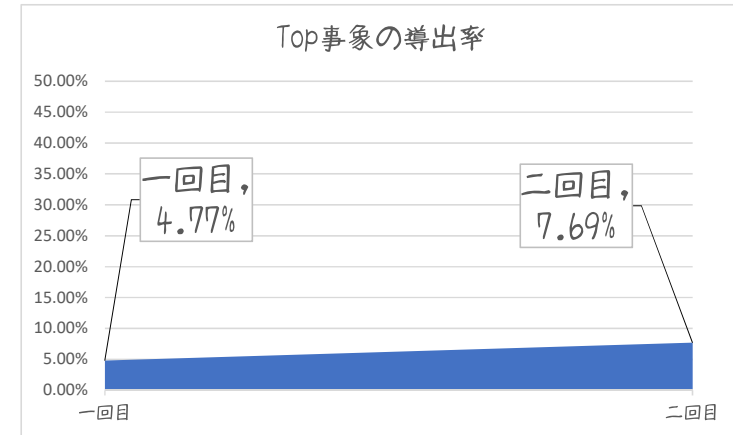
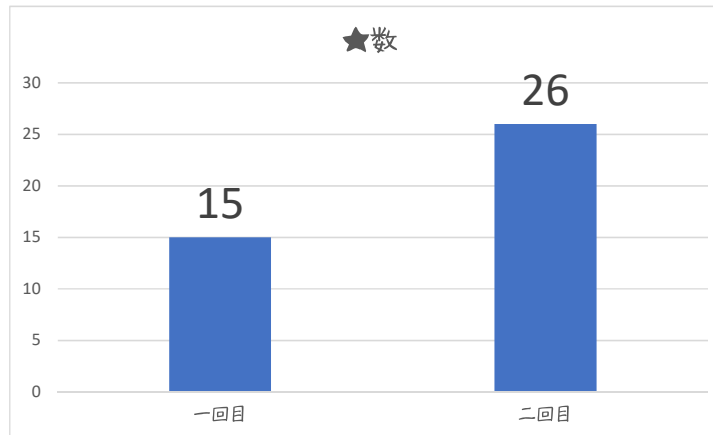


サイクル	Top事象の導出率
一回目	4.77%
二回目	7.69%

サイクル	★数
一回目	15
二回目	26



【検討項目】

- 導出したTop事象で2回目で新たに出たものはなにか
⇒課金に関する事象が詳細に出せた。
ベンダ（サプライヤ）のTop事象を新たに出せた。
- 導出したTop事象で1回目のもので落としたものはないか
⇒落としたものはない。（意識して出したため）
- ステークホルダー毎に見た場合、Top事象の数として、偏りがないか
⇒オーナーに偏っている
- 一回目と二回目で出したTop事象の重複や抽象度の偏りがないか
⇒一回目は粒度がばらばらだった。二回目は若干粒度が一定になったが、基本的に要求があいまいだと抽象度が高く、重複が多くなる。

【考察】

単純な数、割合としては増加しているので、HAZOP使うと出しやすいといえる

【凡例】

- ★：TOP事象（フォールト：下記のリスクに該当する）
- ：身体的リスク
- ：全体的リスク
- ：社会的要請
- ：環境破壊リスク

一：コミュニティで対応しない事象

■：うまく使えないリスク

[illegible]

スケープランド	★の数
ユーザ	1
ユーザ	1
ユーザ(サブライヤ)	1
ユーザニティ	1
総数	5

【凡例】

- ★：TOP事象（フォールト：下記のリスクに該当する）
- ：身体的リスク
- ：金融的リスク
- ：社会的要請
- ：物理環境リスク

一：コミュニティで対応しない事象

- ：うまくいかないリスク

各テーマのテーマ	★の数
1-1	1
2-1	2
3-1	3
4-1	4
5-1	5
6-1	6